

ゼミ生によるゼミ紹介

梅澤ゼミ

ゼミテーマ：よい暮らしのデザイン（＝仕組みづくり）は人々を幸せにする

《先生の紹介》

氏名：梅澤佳子（うめざわ よしこ）

プロフィール：筑波大学大学院体育研究科体育方法学修士課程修了（体育学修士）。専攻は、社会学（レジャー、生涯学習、地域、スポーツ）学生・院生時代から大学・研究室と地域・企業・行政連携に関わり、教員指導の元で児童を対象とした水泳教室、成人を対象にトレーニング指導（社会保険センター、住友金属株式会社鹿島工場等）、社内研修プログラム開発（日本航空株式会社）等に関わる。市区町村の社会教育、教育、スポーツ審議会、芸術文化振興財団等の委員を多数務め、レジャー、スポーツ、文化芸術、生涯学習など豊かな暮らしの仕組みづくり施策に携わる。多摩市では、みどりやスポーツの環境整備に関わっている。

先生の性格：梅澤先生は厳しいところもあるが、もっともだと思ふ事ばかりです。一見厳しく見えますが、困っている時には相談にのってくれるなど、やさしくてとても親しみやすい先生だと思います。学生一人ひとりの状況をすごく把握しています。面倒見がよくお母さんのようです。時々物忘れがありますが忙しそうなので仕方がないと思います。学生のことが好きです。地域の方々から信頼されていて、先生のコミュニケーション力とネットワーク力と体力がすごいと思う。

先生の口癖：しなやかに。丁寧に。軽いフットワークを身につけよう。他人事を自分事とする。

《ゼミの活動内容》

2・3年は、それぞれの課題解決プロジェクトチームに分かれて活動を行います。現在は、「近隣交流七輪」、「みんなの食卓」、「多摩グリーンライフ」、「聖っこ農園」の4つのプロジェクトを行い、「志企業会社案内制作」ゼミ横断プロジェクトに参加しています。これまでの連携団体数は30以上となります。4年生は、2・3年のゼミ活動をもとに卒業論文に取り組みます。連携団体との定期的な打合せ、イベントの運営、学内外でのプロジェクトの紹介や発表等、「現場で動き-学ぶ」ことを繰り返すゼミです。

（公社）学術・文化・産業ネットワーク多摩主催「多摩の大学生 まちづくりコンペティション2014」でゼミのプロジェクト2件が最優秀賞、奨励賞をいただき、自分たちの地域活動に自信を持つことが出来ました。最近、外部から課題解決の依頼や連携要請を受けゼミの地域活動はさらに充実したものになっています。お世話になっている方々は、親切で魅力的でやさしく先輩たちの活動のおかげだと思います。よい活動をして後輩につなげなければと思います。

《卒業生からのメッセージ》

僕は自分の本当にやりたい事を考え、2年の秋学期、梅澤ゼミに転ゼミした。卒業論文のテーマは、出羽三山に注目し「地域活性化のための本当のレジャーとは何か」である。SRC等で発表することで、プレゼンテーション能力も向上した。学生時代は、3年の春休みに九州・屋久島へ旅行、夏休みは自転車（ママチャリ）で四国一周を行った。自転車で旅をすることで地域の人々と触れ合い、普段絶対に出来ない経験や、色々な感動を肌身で感じる事ができた。僕

自身このゼミに入って、旅の醍醐味というものを改めて発見したと思っている。梅澤ゼミはアットホームなゼミで、充実したゼミライフを送ることができる。地域、レジャーに興味のある人、旅行が好きな人はぜひ梅澤ゼミへ。(1期生 N.K)

レジャーの本質や歴史を学び、そこから自分たちのライフデザイン、これからのライフデザインを考えていく研究と地域活動は、卒業してからその意味が実感できる。梅澤先生は、決して堅苦しくなく、やることをやれば、リラックスしながら楽しく先生と勉強できるはずだ。レジャー研究だけでなく、社会に出てから役に立つコミュニケーションスキル向上のための基礎知識や実践方法なども学べ、とてもためになるゼミだ。地域活動を通じての行政、学校、地域、企業との連携、学内外での様々な発表経験、卒業論文の作成と厳しいと思うだろうが、世の中はもっと厳しい。いずれ感謝することになる。頑張れ！(3期生 R.O)